

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	デジタル推進課	事業No.	43
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			南信州定住自立圏共生ビジョン	
	法令・例規等				
事業目的		対象	データ放送システム		
		意図	適正な運用管理		

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・自主放送設備及びデータ放送システムの運用管理を実施しました。 ・今年度末でデータ放送システム利用の長期継続契約が完了し、システム用設備が更新期を迎えることから、更新に関する検討を喬木村とともに実施しました。 ・国の「利用者向けデジタル活用支援推進事業」を活用し、飯田コアカレッジとの共催によりデジタル機器の使用に不安がある方（高齢者等）を対象に、スマートフォン利用講習会を開催しました。その中でデータ放送と連携した飯田市地域情報アプリの利用方法などを周知しました。（令和3年度IID Aブランド推進事業）		機器保守・業務委託料			2,216		
			システム・機器設備使用料			3,502		
		その他の経費			0			
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	
	スマートフォン講習会受講者	人	0	74				
	データ放送記事掲載数	件	3,500	8,613				
3年度決算(千円)	予算額	5,720	特定財源内訳及び補正事項					
	決算額	5,718	(そ) データ放送システム共同利用負担金					
	財源の状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	1,387					
一般財源	4,331							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	13	11	7	5,720	5,718	データ放送システム運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・データ放送及び地域情報アプリについて飯田市の広報媒体としてより活発な利用と、市民への利用の周知が必要です。 ・スマートフォン利用講習会は主に高齢者の参加となりましたが、受講ニーズが高く、継続的な実施や高齢者以外も対象とした講習会実施の要望がありました。							
上記の課題解決のための有効策		・情報発信を行う部署の職員を対象とした操作研修を兼ねた啓発機会を創出します。 ・スマートフォン利用講習会を継続開催し、高齢者に限らず誰でも受講できる講習会の機会を作ります。 ・スマートフォン利用講習会などの機会を有効的に利用し、「飯田市地域情報アプリ」を周知します。							
次年度に向けての取り組み		・データ放送「結いチャンネル」やデータ放送連携スマートフォンアプリ「飯田市地域情報アプリ」の周知を図ります。 ・広報ブランド推進課等情報発信に携わる部署と連携し、発信情報の充実に努めます。 ・スマートフォンの活用不安のある方に対する利用講習会を引き続き開催します。							